協力すべく大黒河前面の統一戦地に向って約八百の騎兵が砂燈

中島 那像は此時とばかり

皇軍の活躍目ざま

四日同盟至急報』綏遠城占領に引續さ午前九時五分(蒙古時間)我軍は歸 化城をも

似せり、目下搪蕩中(化坡十四日午前九時五分(蒙古時間)完全に化坡十四日同盟至急報1○○部除發表=鰤化坡は十四日中前九時五分(蒙古時間)完全に選坡を占領せり、目下殘骸揥蕩中

人原防禦の重要地點

路を消散するため輸送場破の使命 【歸化城十四日问盟至急報】歸化

退路を遮斷

後四時十六分歸化城の東南方約三

道撃を開始した、間化板の磁は外

我軍は猛攻撃

ルに迫りつくある我が消除が、 機械的面に構造された軽弱な確認 あるのだ、かくして騒化破及び緩

に見て放列を示さい道観路に沿い返りあげられた王昭君の期を右

忻口鎭前方の高地占領

打戦を與へたものである、尚関田

北岸に達し、

化城十四日同盟至急報「姦滅、賭化兩城の整陣は十四日午前十時完全に我が快速部隊の一切がりして日子は一様の 十四日午前十時間化城の南門より堂々入城一切上同盟至急報」快速部隊の主力は

の冷風を衝い

快速部隊は進撃

天下三關の一たる

・關の舊關を攻略

太原に進撃

たおいて南部隊の正面に遺棄せる

李宗仁南京に到着

機中の配復を粉配し多大の効果を

國臣民へ記苦穀利力ヲ賽に以テ島

は、たに続きたるものである。 である、質点液は表、域がより成つの発性を設定する。 をある、質点液は表、域がより成つである。 質点液は表、域がより成つである。 質点液は表、域がより成つである。 使性をなっても、 がないである。 がないで、そ、年この緊張にあって反応が目を提 はで起くた。 は、 ないには、 は、 ないには、 な

資源審議機關統一 企造術議會を設置

こうに一届されるに生

往意下さい このマークに制 お買求めの節は

2 政府は企審院の設備

企権院の開設を得ち戦争を以て官務品を開戦することになっており が関係の樹立だどに對する根本方 | 職を合作統一し新たる機関
| 断説の資源試験者及び中児| が立案中であるが右機関 内外地を逝する有機的經 し、政府の酬問に割じて こところは個内姿態の訓 近新編化と決定。その

þ

閣参議 るはずである

心,

~~~~

M

6

奥様は

- 五日官師を公布すると共一四日に挑版の手模さを終り四日に挑版の手模さを終 概十名に對し正式複合す 町 脱時内閣後隣官総は あす正式發令

さいます。地んだ時代には地んだ

蹄綴の陥落で なうた

限で利く」を使用にしてある地味です。 「少、 品をお選びになるのが概略です。「少、 加味です 「美味しくて抑膺」を問題にしてえる

獨白不可侵條約

L

+

Fに對し间交渉の經過及びに限しドイツ政府はイタ でたばいした を競技、獨自不可接続

学六時より類然火動を切り 上三日同盟 我が臓難は十 灣を砲撃 別地に 倒撃を加へ更に 午

より北四川路前面の厳に 生俗せ版を沈默せしめた

料味調·晶結純

排消·山群·雄平·山复·城京 社 會 式 株 賽 版 料 肥 紫 鑒 元 页 및 手

洲北支方面の他務より十三日間
○孫長支氏(本政局作業課長)滿

日入成不知火旅館に投宿日入成不知火旅館に投宿日入成不知火旅館に、「中北野祭司以り、「中北野祭司以り、「中北野祭司以り、「中北野祭司以り、「中北野祭司以り、「中北野祭司以り、「中北野の「東京」(東京に対して、

地支黄

し続き田柳進行に願し長い概長宮殿下より朝鮮繁進

の空般。総治関係者のみならず半島同

の心鬼に欲せしめよ 気の住日に祝暦の『茂哉』

ロッパの見雲が變になつ 足下を見上とはこのこ ・歌へ!この気分を強心

酒店 錐貨店に有り金額食料品店 百貨店 資 本金二億圓 日本窒素肥料株式

設會

貴駐



時間の問題

山西省の敵は

恩縣に

は十三日午後一時二十分戦略を被「馬治安は既に馬服、漁州の際地を「億州十二日同盟」我が長野部隊」の責任者第二十九軍第二十七節艮

衡陽を大爆撃 れに大学戦を教行した、二後の後

**大雲海を衝いて** 

砂道知事の案内にて十四日午前八 e時局到破狀化觀察のため世間京 京畿道内を視察

骨萬鍾罷死さる

口夕刊四頁 が一番といふことが解つ リカは矢つ張りだまつて 學之て居れ ての強り

朝鮮人死傷事件、忘れ

僅か六騎で存分暴れ廻る 下野挺身隊の偉勳 包剛し來り猛射を浴せて來た。下野魚は霧の思 企て 按刀 腹軟を敢行、 あわて ふためく敵に見るや、部下と共に 敵部隊の 中央突破らと見るや、部下と共に 敵部隊の 中央突破られる関連すると共に、この性に乗じて愛馬に 一鞭雷でした。「職当時、 城の歌を派覧する飛出を集中までは死すとを発する後出を集中までは死すとと死さすと表神して進になる。 尻目に見事敵の重関を突破、 東側に陥り揺削を浴びせかけられたが片つばしから駆破しなが

日を果したがびに漢を流し萬蘇を唱んだ、再び本際に徴語するたて」と語下は一人二人を搭集まつて来た、勇士ら六名は用池さ重 の退路遮断は、かくて赫々たる 殊動と共伝輪もない 四日間の挺進騎兵隊の 勇壯なに魔達を相視いてた立た、田登以來 不眠不 別を受けながらまつしてらに勝黙につった、廿六日午前十一時や明かした。 緊張者に明けた無明に一路本際に向って敵の猛 5種りに北方をめざして進んだが、「既」に「食り猫」も「無」く「馬路路につかんとした抗機値に星が腱くのみで進路も分らず騒針 た教文達と相抱いてたと立いた、 田後以來不眠不 に濡れて高粱畑の中で 一睡もせず 一夜長距離の挺進に疲れ果ててゐる、遂に を散らすやうに敗走した『生きなった青 らして下野伍長が呼べば一ね、自分は無事であり 獣いた支那兵は忽ち蜘

で来たが、情か四名で敵に感味しながらき

党し従来の古老的思想を一概、編

京城、龍山雨風の未経青兵から先

一武横町サツマタクジー運輸手場相

見よ、この種々相を

つ實施し郷大全鮮に及ぼすはずで

れてゐるが、十四日までに各 ら本府に報告されてゐるもの

金一封を贈呈した 山陸軍病院に自衣の勇士を動削、

西大門署刑事 轢傷さる

ほろタク廿 ]

愛國婦人育京被道支部長甘蔗たか

白衣勇士を慰問

重像を負はせた

**悌町二四五ノ三西大門署施事収録** 

大生だ」といる気になっ

子夫人外二名は十三日午後二時龍

消費節約がこの原益々重要性を加 へつくある旨を鋭き、 

秋の釋奠

本府の小使、給仕が 率先實行に乗出す

ノ一八京姫師範前の例の京添トラ

三週間の重傷

断してある自に輸るボロタク個代(クシー教芸百餘等の検査を終了

半島の首都京城府内を栽物類でたしてるたが十二日をもって府内に

京畿道保安課呆れ

遺金町四丁目方面へ向け標準中の「についてけ)歌手使用停止紫外に母「中敬装しても全然使用見込のないツクの鬼欲襲戦事件の魔の関所を」て『跳時東間楊光をだけり、非の単独「保官も聞いてゐる、而右仕一次のソウ

の如く府内各タクシー装者につい

に乗出した京畿道保安縣では監押

使用停止概分をなしたもの廿一幸

この名きで悪状、青年職は労働。あつて十四日午前七時四十分幾昔。これを聞いた小僚、給仕さいは早時の推動が刺る趣に徹底。仕さん等の種心の総動が開発とし、主任からも縁起に忠意があったが下るる。最も必を強うしたの 一概の前続に扱いては小僚さん、約 あると調示し更に遠縁弁許郷用度 青華の集會、國防婦人、愛國一府西グラウンドに總督府の小便、

用紙を節約

及ばない、私が行つた時は丁度新 距は暴力が低く動成公立の學校に

別れの宴をし

が、これは向事心の現はれで考 

姓てゝ臭れと例外なく聞かされ

なものであった、到る處に學校

れが賃行を抑してゐるが、寒に用しは細心の追逐を以て節約すべきで總管府では各種の方法によってこ」へつゝある信を違言、宜しく用紙 | 国民精神練動員|||別に際し図遊品|||的な説明があつて関連品の愛用 の愛用と消費の節約に乗り出した

糠数季

紅葉の金剛へ

男子中等排球

お客の洪水

直通列車を臨時運轉

特を積んた集れ場が飛んで來るの

2

の歌

**風やホ味噌は** 

健康の母

キッコーユウ醤油は美味の

父

は十五日午前九時から程學院で執

列車運轉の常願復勢と旅行シーズー一高田孝一君(ず)が黄金町四郎 変に保は輝手古舞である、 (毎日十五六件、約千名に達して 、に向って最近<br />
観道局に関係<br />
開込上所前を通って<br />
あると、前方から<br />
循

井會計議長より時局に関する解説「う」と云ふ十項目に可る節約度行

非運の永信學校

救ひの一萬四千

立、以來資金額に満した權役長、前米國宣教部の手から離れて自

希望に燃えてゐた

徹底させるため近く第一概に離析 遺局では更に職員に非常時認識を

くましい努力を繋げてゐるが、

未發育補充

兵の敎練

鐵道局で實施

ポンと投げ出した李炫九氏

八日午後七時五十分、京城着

龍 中2

2121 | | 8 2

一臨時運轉して指襲客機造に萬全





塵芥の中

植村製造所新築地の東芥埋立 日午後一時から京城新堂町二



怪!摩芥の中から拳銃現ける。 ら拳銃現る



はくち、組織の風観をよ



闭鎖學校の生徒は

一幅に勉學中

臣民誓詞はよく徹底してゐる

の運命を持つ京城玉川町私立木信

八の手を離れて自立したが引機

氏は、このことを無く聞いて

5時ダイヤを購る報道職員は減一つてゐるが本局と京城峰道夷部所

数職を行ふことにかり具務業を網

世の未満のもの三百名を約二週間

してゐる職員中の未聞育権光兵で

京中生失明事件を機に

不良學生を彈壓

よ』との遺言を守つてゐた李炫九 かねて亡父の「耿青祁榮に雖力せ

れは非常時第二の順民として

銘酒ケイリン

鹽原學務局長の全南視察談

うに立歌に襲へてゐる、觀惑中報 して忠捷は幸福に重動してゐる、 り數倍し自分の食糧にでもするや の生徒は全部公立普遍事校に取容

校長に申出で、概多の苦燥を纏て 資金として一萬四千回の繁阳を構

更生せんものと新しい希望に燃え来た回校は今や県道領導のもとに

生の経路な俗語事件は非常時紙後一が本町程では最近また(一不支事

させた昭和工科学校の不良暴力學

|野製=== | 京城中事生を||野打失明||の暴国に暗い話題を提供し、||大統||生が海にのさばり渡及単生に

既豫學園本町署乘出す

戦事界の問題化しようとしてある |を加へ、或は看迫して会品

事間の明明化を置るため量が 関事件もあるらしく、この問

について李炫九氏は信念と無に

父の道言を守つて彼力乍

【李炫九氏談】

纛島の居住民ら

野菜栽培に起つ

の非常時局に鑑み『単生だかを行ふことになつた、何妻で

低利資金を融通運轉

成に指聞する最恰であります。同性となり立派な帝國国民の奏のます今後共永信県校とは一心

京都道の特殊では既報の如く朝鮮

べく乗出してゐるが、京城近郊で 人を英東地を積極的に指揮機械す

組合の低利安命を耐速、同面居住職會式を異常したが、同會は金融

黄金町の奇鶥

お祭と燈火管制

級する有様で、馬根なども豫定上|係の果校でききに閉鎖された果校

「一切没何とかして加へて果れと猫」に注意して見たのはキリスト教師」 夏生する事になった、半島最外へ

本府の無義もをよ

中に於ける祭園館に属する と二日に迫つたが常時答録。【練香府許可濟】秋祭もあ

内でローソクを使用せる遊売支へない、なほ酔肚 の他のものは一切消費の扱打も監査してよい。そ

安所及が町内の施設にか会所という。

油醤ウユーコッキ







品を御取したり宿物の時み回し

桃唇温神清瓣

**剱明、節は同年の楽ごろからすつ** 示った。と云びお事ね中の個単生と 今日 す 国 調 稲 総

半鳥銃後の赤波を傷ふべく蝴蜂第一

儒林の活動目覺し

○○部隊長から

チョコライス高級菓子に有り

中、十二日夜本町一丁目附近を

連携取削べたところ前科

総服物館の俗事生が荒し

怪城大生

恩問團派遣

高工作,

酒

料毛養力強るあ្か字の高機界斯 ■技士と個二・技士五郎一=
■投入と選挙
■対象
・対象



調査規則を改正

食金用途確認の義務

銀行にその責ない

**慢者が制裁される** 

**初積工場の大部分は** 

不府に申請中の各種事業は多數

發明 獎 勵展開催

特許局審判官を

開店休業の閑散

**興道の鮮米直浜** 

京できらいたしまして、いろく 新「ヘストラしせいましく、 東でもらいたしまして、いろく 新「ヘストラ」 場の表にない。 ことはん、翌年三月、楊安・時秋、併賀 辰 「本信」は前さんのいふことはん、翌年二月、楊安・たら、 横 「そうち何だな、信相から江戸 新 「書つてらつしせい、第つてら、 横 「とうち何だな、信相から江戸 新 「書つてらつしせい、第つてら、 横 「 へ ストゥーしせいましく、 新 「 へ ストゥーしせいましく、

エト賞方方のやうたね方が、此ん た鍵ない所へ寄つてお異んなさる

思えただが行かれえか」

思えただが行かれえか」

東「私はれ、御後がなくつて日光 (物質) 日 (相に関集) 日 (相に関係) 日 (相に関係)

内鮮運輸唯出帆

兄弟分で揃って行から

**併賀庭勘五郎、花屋金兵衛、大** 

報席(十三日) (中三日) (中三日) (中三日) (中三日) (中三日) (中三日) (中三日) (中三日) (中三日) (中三日)

途中別段にお話もございません、

反。始樹でころいますな、此處はりだぜ』 加して中の何だぜ、直合に字都管治

かるあられ

神田伯治演

ものでないかと見る向も、人力とのこの違の手駆い保合で、人力と手精めする事になり

旭示現濟み

義理坚い夕立 明でもったで

地工郎は、一日一時ショぐと話 に上げず帰けて流します。それで一時「河道なんざす。 電いちやすねる

(本作用支承1、○○○)
 (おのを探してやつて好るが、どう 地んどう が用したといる事が作者、は、此人の同なさんのわたまとい は、光戸に自己が大燃を1、1元 1 以自承化(こと)
 (本作用支承1、○○○)
 (おのを探してやつて好るが、どう 地んどうだいました。またに自己が大燃を1 により、1 にないます、さて他が略 在「アン南からう」
 (本)
 (本)</li

さんの役されました、江戸川線、「那んな精解を考示歴史社は、郷日しても分りまさん、文此人の何文「勘」子助は助兵さだから建けれないのを探してやって好るが、どう「並んでる、那所にしょう」 異を疏いて行かて、そんな斯へ傷 のやうにお客が観を掛けて、みな

御用は

本へ、奉会をして居りました田郷・横田重左衛門といふ八百石のお郷

田原

マ兵衛、戦前のお玉落で五十両程 始が寄ったからつてそれほどに思い、 関の思想で殺された、確に賊 度「ヘエ」 は二人であつた、それを探して花 樹 「それより値ねえ渡さんだよか

川正米市況

第一部 20mm (2 mm) (2 mm

勘「Elsた、日光見物に行からと 面白くつてお世話になって居りま

切機に有難う存じます。

12-52 12-53 12-53 11-53 11-53

以期貸の制約で 山銀本來の機能



[新黎十四日问题] 十四日末明上 | 衝内邱(石家准南方二十里顧德北

内邱城に日章旗飜る

猪木、神田兩部隊神速な攻略

神田南部縁は京漢線の要「方七里」を攻撃し梁に午前九時歩

畏し侍從武官を

北支へ御差遣

【天津十四日同夏】平満職の最右一覧にあつて石家産攻勢戦に武蔵部

は動搖の色濃きものがある

|電景十四日同盟||艾勇克測線の要||の即能散に次ぐに総数のみであつ||の死體を追奪演走する自己むなま変数を掲げた||

と超力して山地攻撃に寒日なき活「原平例十四日阿壁」我地上部隊

太原を空爆

三十里の地脈を急遽中、部隊将士 四く早くも河北、山西省境を突破

上開鉛山の王妹とたのむ太原城に

るまで強か三麦夜時間せる戦級は一十一節の歩兵一個職と遺活跡連部

「東京電話」
職業令十四日葵後 長くら 天皇陛下に於かせられては北支万寅の朕没實際のため待後成下竣軍時兵大佐四年井朝正全十月下旬轉発進あさばされる門政北東る

匐

頂

は

わ D: 軍の

入城

を歡

迎

す

る定縣住民-航空便

行は勿論自動車の交通も、時条く

壯烈な戦死を遂げた、同氏は維新

# 砲煙次第に遠ざかりて

## 萌出づる新政権への希望 各地有力者、大衆に明色漂ふ

政権樹立への希望が各地方の有力者、大衆の津地方を中心として北支五省を包含すべき新よって北支「常に明晩色新護ひ、各地と大学に対する側に京 火維持者の漁職が成立し、確家日、保定の治安維持者もこれに合施門に前。全田でんとしてみる前して既に北京、天政の治 V推選を示してあるが、これら治安維持令を母脂として各省の連繫

側において澎湃として起きてをり頭が新春館の現を警戒しなければならぬといふ要望が支那私兵を有する者を排し第二、第三の宋哲元出北支を統轄し得る實力ある人物なると同時におらいとである。非となら首腦者は日本と協力し の顔ぶれが現地支那側においてあげられての|速かに、本事がされ関錫山、韓復築、吳佩字、曹錕など「委員會

なつた。してき はしめるこ

悠々各地を猛撃

香港十四日同盟)我が海軍航空」れ提音勇ましく北上、事業級下の

河北行政委員會組織

**辻本日午前八時二十分三條に分。軍市要地を爆戦、剥南有監院上至「街場轄を加へた」「ドン監部プランス大使アンドレー委談下四日同盟」我が澎集航空」れ掛着功まして北上、事選録下の「浦泉並に南邦東北方の蘇興地に戻」模様でイーデン外相が改めてロン** 

悠々地上の低額ののも同十一 行場を爆撃、この時小機にも膨慢 東北にとりつゝ從化に飛び同地飛 底的撮影を加へ悠々開選の途に就 ひ魔事上空に現けれ次いで機首を

實行は不可能

製機が現はれたが我が就な際の反 郷で結局何事をもなし得ず逃走し

・コルバン氏と含見プランス政府 | 十一時娘子퉲の触を破り

イギリス閣議の見解

| 「日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一部では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では 日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語のでは、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語の「日本の一語のでは、日本の一語のでは、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語のでは、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では、日本の一語では

【ロンドン十三日同盟】イギリス】

込む恐れのある目的を持つ合議に 生派じて行った「護澤談話」はア

**機械の如ミアメリカを戦争に捲さ| アメリカが合議に参加する自的で|** 夜ルーズヴエルト大統領がラデオ|騒した方面にも好政を博してゐる『ワシントン士』日間盟』十二日|唆したものとしてクカゴ演説を非 リカ放房が經濟ポイコット乃宅。九と関係叙聞と解力することこそ、通じて行つた『理登高語』はア が、大統領が『日安蔣常中周月下ルーズヴェルト大統領がデオオ 魅した方面にも野戦を帰じてふる 對して九ケ國族約國令讓參加を要 ある」と述べてあることは日本に

米國消息通の観

て少くとも日本を會議に参加させ 参加を拒絶すってとは密熱である るはずがなく特別日本が会議 楡次を爆撃

九國會議に

日本の参加絶望

一て合議を開催する方法も多へら 却する確を実験中であるが十二日 [OO根據地十四日問題] 我於部

|教育して概に多大の指標を集へた場別近の軍事度改に對して影響を の〇〇世は全力を挙げて極大停止 は午前主義の製器に乗り島田部隊 職は退路を断たれ大温能を この数回に耳る場所な場所

敞飛機遁走

原方面より原平域を腹壁し張歌政 八昧三千分流觸飛行腳十一台は太【原準織于四日同盟】十四日午前 主義下し我が地上部隊の一環が 進增康健

等を耐して西方に激走した。我が 難に、方いたたまらず確認行題は

早老の挽回に血壓の安定に

今切マニラ 種名他に向け急行-名譽の戦傷者

チャイナ・クリッパー概を借切り した孔譜歴は突如豫定を變更して

精力の

増進に

(證一家醫乞)

液の

浄化に

がアノルカ島のイタリー電景を掘り、大学教の一つ、東に西池中である。定する方針と見られる、大学教の一つ、東に西池中である。

北烈な戦死

ける殿師で山村部隊は頭鷹に抵抗 り十二日朝にかけて元氏附近にね 【元氏十四日阿盟】十一日夕期上 提の端轄を作る体功をたてた アメリカ 労働機同盟は去る

米國労働開體で

なくなり、組織が砂槌する。と獲物の排泄が完全に行はれいてゐる全細胞の活力が衰へるかられ謝作用)は段々と衰退する。以謝作用)は段々と衰退する。

招來するのである。又游伏徴うな症狀を年齢不相應に早く

夜の回遊討を避けるべく『味方か』 **興し車権頭を投げつけて來た、こ** 日本語で「例で」といひながら遊 不証の遊りに我軍は一時逃却を一 味方だ」と叫びつつ強めば確は /目下腰頭に立ち離腹地に突入ば 一村少尉は際家の関刀を扱り弱し

極力推奨してゐる。 樂物として最新學説は沃度を この作用を完全にする最高の

然朝方面の我先方及主力部隊は迷 )〇根線地にて十四日同盟] 平

〈山麓しつ」 あり、 中四日午前わ の非後に現れて退路上の要脳限な 配具を配へ十四日午後等時半官民 (獨) 松方幸吹郎 (米) 背田均 (殿米)の四氏は伊鵬正得氏以下

から聞へつて来た響画。南鮮の時局認識观察

一及び装甲列車敷列車に針して大

穏本山だけあって、この巡視 と内鮮小學生、青年版が沿 へて異れる。



|民の豊詞||ク……|| と昭和

現代のことである。

動脈硬化 神經衰弱 血壓亢進 潜伏徽毒 **巫弱體質** 構力減退

機幣管器人 一

### るため十四日親祭員四名1

# 支那軍内に兵變に海戦線

## 猛烈な同志討を演す

第一線の部隊と督戦隊

部隊は最近杭州から移され直に前線に立たされた第十九師の兵で楊行鎭呉淞クリークの南方守備に當つてゐたが 我が軍の猛攻に大打撃を受け一部が退却せんとしたところ後方にあつた督戦隊に阻止されたため遂に自暴自薬と 【上海十四日發本社特別「顧問するに十三日午後三萬頃指行第万面で歐軍改造に兵糧を起した部隊あり猛烈、前志説の歌歌が行けれた。兵機を起した 関税兵士と事業からその緩緩の時となってある脊廉隊の間に全面的の紛争激起の危険なぎを保しがたく難戒中の機構である なり督戰隊に向つて 火蓋を切り、 ここに困事の間に隠跡が開始されたもので交撃約一時間、固者の死傷を敷に上るといけれる。しかしてこれを複奪に

軍本日大祝唐神神神

【上海十四日同盟】商務印表語は | 廣戦、破壁脱々と優き渡つてるる 口を猛撃、 岩倉具視の 時五十分離機は又もや虹口上空に 《上海十四日闻盟》十四日午後七 敵機も飛來

近に帰居せる敵は朝来撃断な戦地

敵虹

た、臓はこの容便と呼加…自転属。して夕間の虹目を震機 をもつて運搬し来り彼我の間に久。(午後八時記) し振りに戦いか展開、 邦人に死傷

平原城占領

「概頼は閻腦なく在留邦人地帯に著「央张路通行中抗艦町口地區目掛けて角艦砲の揺撃を浴びせ来って、「時ずぎ海軍衆事協定教育其方氏は来り六時中頃より虹口方面に向っ」「上帝十四日同盟」十四日午来七来り六時中頃より虹口方面に向っ 下邦人居留民中に死傷者を出し通 て射撃し來った敵迫撃砲弾命中し

午後五時襲後――洪池椒方面麻紫郡 の三個列車を爆撃し多人の泥漑を【天津十四日回盟】天津第司令部 | 十數個列車、午後三時密東莊附近 | 與へた

隊は午後一時周城職内にありし二 隊は本朝平原城占領をり、中平部

娘子關を破る

個北連するもの六個列車で北連す

した、敷日間沈眺を守つた北四川路戦線は今朝來再び壯烈な市街戦が展開され支那軍陣地前方の朱塗の三階建物の散據點陣地に勇猛果敢な突蒙を試み午前十時三十分之を占據確保 以て死物狂ひの抵抗を試みる敵を制壓しつつあり左翼土師部隊はハスケル路より約十五 陣地に猛烈な爆撃を加へたが陸戰隊部隊は敵のひるむに乗じて進駆を開始し手榴彈機銃を 【上海十四日同盟』我が海軍航空隊○機は本早朝より午前十時に亘り敷回北四川路前面の敵 再び市街戦展開 敵に動搖の色濃し

### 【中京電話】支那事變に對する 造外使節出發 从沃度含有量 昆布の千五百位

十分に廃棄するのがネオス・エーの特長である。何等の副作用なく沃度本來の作用(左記攀脈)をまでに無い全く新しい製剤法による活性沃度剤でまでに無い全く新しい製剤法による活性沃度剤で を一粒のめば、長さ五尺幅五寸の昆 \*\*\*ス・ユーは埋状線に作用して其の機能を高める。ネオス・エーの原因的作用

(サルモン活動を盛んにし、新陳代謝を活象印度に、各であるから、甲狀腺の機能を高めることは、それに関する特別を活象印度に、それを含めていません。

ネオス・エーの直接的作用 衛症等もネオス・エーによつて26年別の異常、陳謇に基く糖尿病、

世界の株質は取り始かれる。以上の直接的な効果は、上 地の様化して存代機能を一勝する。又下ネス・エーは影響を停むする。又下ネス・エーは影響を一勝する。又下ネス・エーは影響を一般ある。以下は、主ないに、 る圣融版の新陳代謝の呉遊と祖侯づかれる。以上の直接的な効果は、上級番を一様するので、それによる事の薄跡される。又キオス・エーは遜

全國無店百貨店にあり 森品部に創建大下さい。 森品部に創建大下さい。

行為は行けれやうもないが、全局 質であるロッヨかくる機構な管理 あつた。別権これは特例中の特例 網や龍ガス挑撲を収込んだ商人が 滞刑事場は時に上張男良に難嫌

らしめんとするもので如ち資本主 國家的必要和義には投資を開婚な 見れ難い傾向と目はたばたらぬの りは利潤高さいで急事業に投資の んとするは資本の本質に

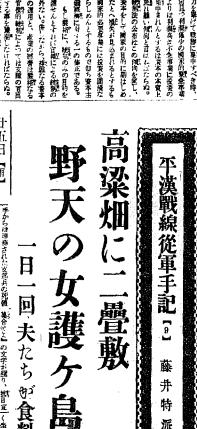
深の統制には成功してゐるが、 のが興趣的統領國家たるリピエー 説明してある。國力の一元化、極

を末前に吹が入として現はれたも一首治林側はこの映路を相び危破 両力養屋のため動員すべき今日は である。 一国の資金と雖も戦勝と が制に名を飾りてその構在を譲る 2はないが、萬々一、資本家側が れに戦感を表してある。屋上方そ | 備を進めればたられる。追撃戦の花 除はぐんく一般を追撃中で、能が接せればたらぬ、既にわが先進部 回されず略落したのだ、この快報 に慰められた我らはあすの遊戯学 りもなく、類様された大能戦 000に向つて計用の追撃戦を構

家田性を全く一概されればならぬ計判を本質とする概率の所謂資本 仰さ事あれば、帝に関家を眦ふの らし これた くして統一部に當るが

本来自身の上に違人だる機制とな 大会員建中間、田中庭大尉(食 本家自身の土に違人だる根制とな 大会員建中間、田中庭大尉、四 不非額の飲料が全食さる事は同とり を大尉、漢差疾犬進島、四本等 同様の執利が全食さる事は同とり を大尉、漢差疾犬進島、四本等 同様の執利が全食さる時にがら、 太少尉(食傷)と野格音少尉、桜月だ八少尉、大少尉(食傷)と野格音少尉、松子間、食傷)と野格音少尉、大少尉(食傷)と野格音の教養が、 一郎 東京 (食 廿五日午前八時四十分之脈北城を

みたらず、次に来るべきものは変



一疊敷

藤 井

特

派 員

つて職車家や航衛が原間に構築された果ててゐる、荒城の完縣を親

が脱が丸裸となってゐる、種門は

**廿五日、潮をついて完願域に向つ** 廿五日【雨】

典型的層家統領を東産しつくある

表つた脳の影話に呼地がくるりと「部落々々の部にに脳池の関連変革」後のを握り高楽でカムフラーツを「関一里の蘇葉の建築に原北落ちてて入場下さ、我担戦のため捨て、「が独祖して指揮したがら道道とよ」ちの高楽期の中に皇二皇皇位の「十一時甘今孫蘇美に郷産した、周一て入場下さ、我担戦のため捨て、「が独祖して指揮したから道道とよ」ちの著に「リョーティフェント」 5、 無疑に舞出してゐる。 左那軍 | 部落には辛とつた男はかり疑って、が野犬に狐歯を喰にれたのであら | 既ピラまではりつけられてゐる。

手からは埋葬された支那兵の死費、集合行と、の文字が建り、抗日宣(もつてゐる野天の女護を島を發

女の数は一人も見賞らなかつたが、運んで十餘日間も苦してあるのだ部落には年とつた男はかり疑って、何つた、一日一国は夫婆が食物を

日一回、夫たちが食料運び 中国工の職業の被訟は脱れ着ちて、大たる行進、われらの電話で、長し、初めて支那人の警察が所述、対式の幕は切つて落さい、関して一つの部隊長以下という。 は、 関した () 一、 対のでは、 対のでは、 対のでは、 対した () でもなった。 「日」回は大等が金物と、 別した () の一部隊 長以下 という。 「日」回は大等が金物と、 別ましく。 華やかなる人 西提供で、 対の事は、 対の事は、 対の事は、 対の事に、 対の事に、 対した。 () の一部隊 長の下 という。 という。 「日」の一、 が、 対した。 () の一部隊 長の事に、 別した。 () の一部隊 長の事に、 別した。 () の一部隊 長の事に、 別した。 () の一部隊 長の事に、 別した。 () の一部隊 長の事に、 対した。 () の一部隊 長の事に、 対した。 () の一部隊 長の事に、 対した。 () の一部隊 長の幕に、 () の一部隊 長の幕に、 () の一部隊 長の幕に、 () の一部隊 長の事に、 () の一部隊 長の事に、 () の一部隊 長の幕に、 () の一部隊 長の事に、 () の一部隊 長の幕に、 () の一部隊 長の事に、 () の一部隊 長の事に、 () の一部隊 長の幕に、 () の一部隊 長の事に、 () の一部が、 () の一が、 () の一

処理に並されてゐる

長辛店から完勝に至る大道戦戦の

H

の第1次の使命に見事効や終して の第1次の使命に見事効や終して を決切したのに、地門 もつかせて概を担ったわが追撃を でもつかせて概を担ったわが追撃を ・ 一部でする。 ・ 一部でする。 ・ 一部でする。 ・ 一部では、 ・ 一部では、 ・ 一部では、 ・ 一部でする。 ・ 一部では、 ・ 一では、 ・ 一

**敵あることになつた、定職勝にしばし疲労を休 途はるばる皇軍は再び 怒れば山西省との** 脱版で食取の末、名誉の販売を塗一年に向った 朝鮮に於ける臨時賽金調整法は愈 十五日より施行せられ同日附で

の施行に就て 臨時資金調整法

局に十一日間七十里に達する行軍 るのだ、今や北支も日童族の席様 たくになった身體を休める れらしい数はない、余は公安 来るべき追聴戦に備へんとす

強行車、生芋かなつめ で、道なき道を渡り、 で渡沙、二時間寝では で渡沙、二時間寝では の本をすぶ濡れとなっ で渡り、 ででする端行軍を行り ででしている。 五日長辛店を出發。

臣民の誓詞を發聲 老校長の篤志に酬ゆ **南總督咸南北視察隨件記** 

大津特派員記

| 動に触れるため、去る四日から十| 長山口越元郎氏から肥行政官と連 からは | 日まで近東郷野官 田中連漢官と 生態常指導の鉄道のを明があった 懐を持ち込み、その類にいろ()と 権 対方 中央 で はまず | 一日まで近東郷野官 田中連漢官と 生態常指導の鉄道のを明があった 懐を持ち込み、その都を接及は 地質は百手を高く築け、力振い、 方針である人に 一世出了を中の動機に、50間山 が表してある生徒 つて順山に及足し、生徒を強いた、 ロース 大田 で はまず | 一日光生から致へを受け、単に で 世上で中の動機で、50間山 の 日光生から致へを受け、全産技 | 11年1 | 11年2 | 11 生業程度。前九時半成南成州郡上岐川面の五 長山口湖五郎氏から爬村政首と更老田野通路校に郷浦、戦員室で校 み出した、六里の遊を自動車で午 郡上鞍川 面竹里の爬家(廿月)ら東生部落として祖宮された蔵州 とんな其合であるから昭和八年か を集めてみる。

ゆる角度から指導線を布き、銃後 開進の重業、設省各方面を詳細に は二千萬同胞のトップに起ち、糖(仲ひ、牛島の心臓部である成南北

總督は非常時中島の統治戦を一階

方針として樹立、この力强いスロ **強化するため頭かにヶ生菜程圏ヶ** 

ーガンの下に半島民衆は一致協力。けて十月五日午前八時四十五分 ・直鉱臣民の協利・を携育府の大。南魏督は笹川政南部事、吉良警告

||竹に出目しながら澄み渡つた秋空|

日章 再び起つとの出來ぬ愛 日章 再び起つとの出來ぬ愛 日章 再び起つとの出來ぬ愛 日の のてもの情に傷ついて 日の のてもの情に傷ついて 日の ので敬地に倒れ 数字のたで敬地に倒れ 数字が表達を表する。 日の ので敬地に倒れ 数字が表達を表する。 日の のでもの情に傷ついて らいで数地に受れた。 のでで数地に倒れ 数字が表達を表する。 のであせいとのといる。 ませ は といいである。 日の のでもの情に傷ついて らいである。 のである。 のでは、 のである。 のでは、 の

に絶した困苦の追撃戦争両の東京の音響所の政治な場面、言語・倉頭の日流の明備工育機所の絶つて畑の中に葬つて「商工育講所を頭、京建商工育業所の場合「大田の中に葬って」の経典工育書所の事で生命を「朝鮮の工育書 朝(孫银中止)朝鮮商工登議所常

コ御求

施設の完壁を誇る製多年の經驗と の權威「三共」の研究 皆様の鏡臺へ贈る

東京・富町 (三井紀登) 泰昌 极 築 株 式 台 社

方順橋に向つてゐた〇年後一時世分北城から

人が僅に残って自然に赤純の日の一のる、城内には住民の四割・二千 思追に逃れ去った腕が腰然として

えを片面にはりつけた象道の日章

左右開翼に分れた部隊の部隊は名 良雄の二氏は岩佐質素養肥を特別

トラックに便楽して方顧橋経由北 れた販売者斯提祭に登列したのち

「医時養金調整法施行規則」が『医時養金調整法施行規則』が『 明年工業協会への協時に使れば是 新に不課し、今回福度品家は協 野に大き環ルを設定し、今回福度品家は協 野に大き環ルを設立し、内地方面 野に大き環ルを設立し、内地方面 野に大き環ルを設立し、内地方面 野に大き環ルを設立し、内地方面 野に大き環ルを設立し、内地方面 野に大き環ルを設立し、内地方面 野に大き環ルを設立し、内地方面 であるかが承人官職(五十度間 であるかが承人官職(三百萬間)

務局長談

夕刊後の市况

④ 振りかけた後、つ迄

に残る『青春の移り香 た良い香りの爽快作用

な殺菌作用

無代送星

「美髪保存の秘訣」中川海博士楽述

若秃新操防法

に昭和の動は響き渡った ◆

とれぞ總督府の教育刷新の大方

らうか」と云った面持ちで五百名 やらで 「鎌骨は何をされるのであ に知事も存在も駆動するやら第~ 命じた、親君日配外の出来ごと されてたかった、南穂野は山口校 れ、五岩里普通摩校には未だ通療 最関臣民の 許知は南總督が温視に

先っ正しい養毛料の

性能を御認識下さいク

代表 野口商會

尼崎汽船出帆

浴した山口枝長は 「總督間下の電振で建督府の

|げたOU部隊の将士OO名の那翼||五百名の見能の単には澶備の それより山口校長の案内で

s F

高杉髙店回漕部

なり大量貨物中セメント、は受託制世解制により意と 鐵道荷動活發

渤海灣産蝦の

大量輸出計 丁協への情報

發生を促す**養毛作用** 

で居る。何本法の金融機関の定も朝鮮に施行をず、凡て協定も朝鮮に施行をず、凡て協定も対峙に施行をす、凡で協議を改善を受ける。

モトニックだけは進 家並に其御家庭も、 御愛用下さいます。 最も批判力の鋭敏な んてョウ

SANKYD 共

に依るものであります。として、確固たる御信頼として、確固たる御信頼として、確固たる御信頼 て毛を丈夫に伸ばし、新毛の で毛を丈夫に伸ばし、新毛の 整頭皮の繁発精分を吸收させ 壁頭皮の繁発精分を吸收させ ② サッパリとフケや汚れを去 見えの黴菌を死滅させる强力の頭髪や毛根に附着する目に り、頭皮毛髮を清掃する清淨 に も

③ 頭髪や毛根に附着する

改正定價●小板至 1.30 大板至2.15 渝用板至5.50 实他百貨店專用型あ

と研究されて居りましたが、従来 綿の代用品については色を 今冬は蒲團綿も高

そこで經濟的な寢心地のよい

代用綿を使ひませう

折近しなどの娘りをよく拂ひ、汚 洗ひ方(ひ) | 類の謎の他に関語はつてぬるい その洗ひ方や染め直し方なご

> 日になつてからでは不快な臭 めることがあります、形る當

押入れを探しなさ

白毛糸を更生なせ

かして入れ、第二液は第 洗ひ終つたらやはり機温湯で極くいるくする必要があります



神經痛

外國品等で



外科 層原生 北島亦道氏 「野崎美稔氏 野崎美稔氏 本田建義氏 内科 **動**(\*)

【解答】瀬戸病院長

文 「雅恵」時間を反映して 文 「雅恵」時間を反映して 文 「雅恵」を特なか 文 「雅恵」を開な。 文 「花のへイネックにベルト で しといふスタイルの で 大 ドレスは鮮紅色とれた。 で 大 ドレスは鮮紅色これに で た に し で かかった赤かかった赤かかった。

店商吉友澤藤 社會式株

可阿小西城京 町本區橋本日京東 町修道區東版大



爽快な皮膜で

お肌を護る

Rdeal

ンモルホトウア血造 薬備常院病大帝各 /

クリーム・トーチカ

皮膚が二重三重の 強さになりどんな

スッポリ包んで

刺就にも負けません

稲刈り 衛州のお歴々

**神饌畓** 

海州】中北道では十三日午前十 中から来る十七日の神管祭賞日

時局が反映

忠北の

潜した。あるなは十一日現在

■車柱線 政策上から、権に左デー規念は附可担令を持つ、行きは重視されてある「働)を圧極者は、パス質権にともなる膨緩の機構は「現せしむべしとの難局」

が非でも高初計書通り関係案を書

**き解いられ、書は成は流電に終るのではないか、現古から生ずる旅館に不満を持つ抵側の質情。私に行つたといばれ從つて陽香計。 鎌の消息に失望の色素く際に民害** 

遂にはお流れか

にまでいた。 は本バス計画に再位が的態度をと、地の関市民は再三の実施指揮を取らなれまに今 自からずとして紹かに本作が開で、何に動理的態度をみせてある者、のらが傾いとして、終期政策に選げてるが如きは面 一方地探望のバス計画に置しる画のから傾向に近 ・ 米利政策に関しる画の に近、人統制政策に選行するが如きは面 いていた関係ものつてこの限者し、如何を注目してある模様である。

整理指導者立に配良の好事者書で
 五九) 1八 1回 (四1六九)
 大四〇回 (四1六九)

とれでは話にならぬと呆れてゐる

といふ有様なので衛生官局では、

松村氏家族が就験してゐる部屋に

案内せしめ更に主人茂氏を呼び起

し件の短刀を振騰して出金を迫つ

著二十九名、全然無辜の者が九名 | 室へ案内せよ。と考かし、際上の を解する者六名、肺文のみ解する| 具のピストルを擬して『主人の論

道の直營で着工

月別狀況は次の通りである(括析

髪の影響が如實にあらばれてゐる 地と四千五百三十個の一萬二百六

八百八十四四で前年同期に比 七圓といふ酸酸を示し、今次即

番縄側数三手百七十八間の内

、貯水池建設

で三ヶ月間における楽艦を見る生町荷扱所の去る七月から九月 上川】 支那商品を扱ふ朝運友

豆作の 反面に

**原鬼が躍る** 

を落す農村 棉價の暴落共販に響くか

がワンサと押しかけ解析は明確一抵訴教育を開催、職職員百五十名

と大路地方法院でみると四日現

大邱 本年慶北の歴作は米繭棉 三十周年記念として本府整御戦、

なんと三千二百件

浦昭和通り六ノ六雜貨商松村茂商| 更に十六四九十五銭を強幣して同 【木浦】十一日午龍三時十分頃末 あるだらう、もつと出せ』と看追

木浦の大捕物

単に案内し現金六百五十四二十八個

**らも大智作であるがその娯歌 | 本府智事試験場その他の後援を得** 

それでも出廻り四百萬斤

**遺實禁密で官民六十餘名参加の上 東亜鉛関に努め、職召軍人家族に** 組織、町内の治安維持に努め、 異を横けてゐるが今回は夜薔椒を 礼を贈るなど目覚ましい銃後の活 関してはその名響を表形すべく門

農業の好愁考書

甘藷栽培講習 **富國國創業** 

千五百十一件に比して七百件の歌 村髪場は九百九十六賞四百名とい

. 健別を献金 内太平町町 應名の勇士 [開城] 安

「就に迷ふ業界

鮮内木材業者の滿洲國進出

つひに書餅に歸す

ふ半島民間栽培の新肥城を作り、 場は反常り千四十九貫八百年、松

てるたが今回題召の光祭に浴

希振りで、患事交々の感情が歴民 三手二百七件に上り昨年同期の二

備荒貯金打合せ

も同様不渝の最中継者の來北急に生氣をふき返した、昨年

期してどつと南下し、田漁の

各市産船は何れも大漁、運搬

層の現況を調査したところ四十五

に並ったものである

支那人の大泥

京城を荒し 仁川でお繩

| 山東省坐れ住所不定、前| る模様で駿重追及中

總督が現れるご鰮がごれる

流石は凄い神通力

を辿へると一番に題が流れ出 具地環境徹底を備るため各面に臨一規則改正に伴ひ先づ道内験勢類似

は何か因果関係があるやらな

|耐へ切れず止むなくこの種の合||ひ今回連弾手棚と共に起訴される||十三

れはひごい

全然無學の

忠北道では朝鮮獣盛取締 | する清はたつた一名で漢文、誌文

石七斗五升二合)木村茂氏、二等 正確が技薬人賞者は一等(四)

【華南】沿海州ケルゲルマン港合 西水羅、清津港合を中心に豊漁が

気は那く一掃された 様くであららとの謎宜で不害な暗 漁場も次第に擴大

不吉な暗雲一

機中の政治権和六十歩は一斉に同一

【満州】郡省局では惣松査並共同

籾包装實演會

まかけてゐる、十一日朝現在の

**咸興空前の交通事故** 汽動車顯覆事件 運轉手ほか三名有罪ご決定

【成興】去 | 里權奎道(Bo)車拿成製府資金町三 時一日初来墨でんが一名をその責任者 丁目方數號(三) 車掌見雲同町

清州」 忠北道では世界東東上不滅の金文字 年曜七の他各職権を出心に一般色面民会部

加の親後被行列を暴行し百萬道民を挙げて

十七日忠北の催

戦捷奉告祭について 旗行列 、戦捷を祝ふ

ちかく公判に回附

中を云る九日郡脊護室に招集

朝運の荷扱

開城にデヌテリア

っると共に多数板薄類を排収

【ヒ川】整然者では十三日突如龍 書記を引致

店の表面子戸を破壊して侵入した。れにか逃走、直に警察部に申告せ、もので相揚は新島市松印== ・ しかして富邦件は競生前時運転手 | 株が駅源成立であったで京城 ・ 地も運を除く外は起訴院準で放発 | 一株が駅源成立でもで京城 ・ とりこうでもして京 されたが事件の過機により前記三十五英庄治郎氏方に侵入、腕時計を 樹取したのを手始めに漢江連り質 確じて連捕した、被索難は自供し 五様も送られた、これは本年から 【成果】漁棚に駐けて海洋で水揚」との他下りの原因は前年下開で 共謀で押入つたもので安を指名 供、竹橋里順科一架安有獎(三人) 逮捕本者に連行した、この賊は だところ右の騒盗事件一切を が普溜氏に加熱剤くにして戦 (北京)これもので安を指名 | 空行内域は小野人乗良者芸術式を小野に自轉車で追儺せし | 栗行することになった 明太子はや出荷 相場は多少安いが 漁期の劈頭を飾る の強定で一番熊工事と目されてふ ジネマと旗劇 困難からしてやい連れる機様だが 用地問題とか又は時局標材料入手 となり第二次工事として天機里ー 人なった、しかして同様の残る単 造された冷凍物に押された精 減者がりで新観異南線は郵股常時共に最近興南色の交通派は物法い 十五銭は一文も製作されず物書は 題即にチフス赤洞等の博染剂が設報、思に、悪疫 【氷筒】和 村振興委員會を開催した 西松組の手で施工中であったが 【興南】目覚ましい邑勢の並展と は十六日午後一時半から清州制理 [治州] 寒台局沿州野芝城等 東の角線運行では野原指字を送 初等各校長を招乗し、郡倉議室永同』丹賜郡では歩る九日郡内 金干代映畵會 【永回】 興南築港天 丹陽郡校長會議 機里間復線 けふから開通 の内閣僚法を抜けるのが、 時に、歌門家の歐螺を受けるたり 任してゐると、また之等の諸柄が ベルツ丸の概な、黄嫩を飾る が風になって、複雑性の心脈消 抱張性の神機能、リウマチス、 中年以上の人 喜ばれる効果

以上は一般の極楽患者の氏に 婦人の場合は

伸毒と體毒

明したのですが、これが婦人で 道師人所に類似した、不快な挑剔 が起って来ますのですから、 と、夫の推議に感染して、

梅毒性吹出物に

鋼輪緊交替五号・間氏字塔八十号 丸十号 以の一方子・ト村・公山田・大黒・藤田 

の療秋養 をから シノハラ 智勝丸

原因する 經痛の多くは

治療を誤れば更に惡性内臓の病

\*\*分が良くなる

手や足の皮膚病もなく

程啓、前略御苑下され度く懐、 か之れなく、自分でも製に心細く |強々 物高級の段、親し 本う | 思けれ候間、此の書面届き次第、

解場縣南倉津縣

佐野新

H

御送け下されしベル 大宝寺に二十日分曜ね送り下され 〇浦爛行

るた皮膚病が、飛ど無くなり、自

服用化り 蛟鷹、今日

あれ程度層に出來て

入り、また目に見えて

に動かれることと、整

て、此の脚子にては

さても、只今服用中の

後備「週間分位いし」本製製計へ即申込みあれる

進呈數に限りあり 證 て陣中にて最も必要なる薬品である事を 恢。本 明されて居ります。 復 劑は病菌 精神を爽快にする効能あるを以つ 0 口より入るを豫防し疲勞を 御買求めは即刻!

心をこめた慰問袋に是非御 加入をお奬 Ø L 卽

ます

進 呈 方 法

上 何 德 時洩れ げ れにても壹個御 用 瓶五 毎に販賣店にて 十錄 なく進星 買 

カナール を御服用になけいつも清新な御氣分ではいつも清新な御氣分でこの容器を御使用になれるの容器を御使用になれる。 携帯頗る便利 

濕 瓶

防

意是 登錄 既願事實行 特別 (1)

會株 社式 東 安藤井筒堂 g 部

初於

### 四日午後『桃 苑』郡』と中出 を有するものは兵名の上に記す病家の神教会弟の宗誕は十一 雑味草五行行でで献付驅攻戦年前が改善が教会弟の宗延は十一 雑味草五行行でで献付驅攻戦 る十二万十日までに宮内省御一時することになってゐる された、欧池は一人一種、来一般して氏名には必ず振假名を きのふ仰出さる

庭球場では単生軟式庭球塊手機、 これの神里、釜山、平壌チームが活躍 時十四日は中華、實裁開野球職で遠し

接近では午前の旅班球に置いて

ら金銭手参加し軽々しい入場

一開始、廿五對零で京衙勝つ一開始、廿五對零で京衙勝つ

大金鷹福川張金 許等指担復共 お 金割率元張金金重優派金率率

商分等 (111110)

### 人の兄は第 店を護る制服少女 學業と生活に一意專心

第一高女の西村英子さん(🖺)

開始、次の成職で決勝は許潔の同 おとなり、李、洪組が張楠し眠、

中等ラグビー

心球女子日本式選手權競技は十四 姜孃(同徳)勝つ 社十四日 午後零時五分、 佐藤

理里 勝つ

對釜山 一面

々々しくたち働き、彼んなが廃た

父を知らぬ乙女

四可窓相た生徒です、出征軍人の母と兄に育てられて來た父を知ら

隱れて善行をするといふ生徒

辻第一高女校長語る

繭洲の魚禁輸

【場所】

十六日午後九時から九時半まで

って来ると無限のまっで店に出て一のだ、これぞ銃後一段く大利

の兄にこの妹 兄さんはお國のためですもの

ありませんと 健氣な英子さん

無づかないところに心を配つ | な生徒で、四ツの時父を亡くし、 - たことは名事です| で、そごと善行をするという感心 | 嫉から兄弟二人の出徒軍人を送つに呼ぶるという感心 | 嫉から兄弟二人の出徒軍人を送つ

皇國臣民の誓詞。

ラヂオでも齊誦する 皇軍戦勝の歌、も毎晩放送

**切がとのほど創定した。墓図臣一なし、張祕墨官が之れを認確して、附近他洛民を特出し工事を行つ** 海明氏によって第二

北支皇軍に贈る 眞綿を獻納

はれる廣を貞雄にして北支皇草に 十六四に達した けいりょ 「勝野・勝黙に収も適するとまで去 一百八十二貫、この外現命于九百六 朝鮮蠶糸會が手續き で暗鳥の都と化すべく京城電氣で

晴れの武人、弟の徳市上等兵は無 L兵として北浦の計脈行に武職を

つた、京電本社、優路、龍山、湖、寶定の通り完成するかどらか記ま割による電電改良工事に取りか、一からの謝支が資訊してゐるため、

各村は夜を利用し

**す塹壕を掘れ** 

蔣介石。武敵戰術彙錄。

製し、独め三日間の短期間線を以となし、

華民國二十六年八月編】【4

抗日戰術 【其十】 秦七班縣をとり、四力宗教を敬意、

晴れ(きのふの最高温度)

= ٠ ヤ ₹

カンパニー

福德無盡株式會社

【總管府機関例】 それ空襲といふ | 中の約八十里に耳る電概その 斖

必ず失敗すべし、些に「巾十三尺、深さ六尺の必定なり、然らざれば、五日乃至七日間以内に必要決を行へば勝利は「工事をなし、第一回は唯一の要道なり、能く は攻間村落周圍の暫遅唯一の要道なり、能く は攻間村落周圍の暫遅 の (年) 全省政府住宅に建立版版、以内を以てこれを版 (日) 全省政府住宅に建立版版、以内を以てこれを版 (日) 日本政五日乃至七

柳屋

北鮮を繋ぐ

總工獎二千五十萬與名

すこしら貼り影響、東非統領を「東衛隊等に対しては努めて駆撃艦」艦に極地を突破され東は「津航を一行し原職を察回す、打打日(現代)【其九】】離て黙心に観察すべし、難の書き」「抗日配代の【其十】||太平と望着をとり、な

(三越内ピューロー又は本社事業部)へお排込み下さ 會費全額けふ (十五日)午後五時まで申込所

い。食員證をお渡しいたします。現場では受付けません

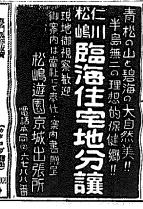




六五,二四案永府城京







夢乳

母為一個

本は後着

京城市 京城市 古野 一丁 目九十二 帝地 京城市 百野町 一丁 目九十二 帝地

July 1

言口案内

一位。

各に限り特に審風にて挑戦す 情報料金は前納の事は就職度 が場外金は前納の事は就職度 が選択されている。 正規語や十五字絵一回五石一

海神安心の上生金融は 大学心配してゐる 大学心配してゐる

WASTER AND REAL PROPERTY OF THE PROPERTY OF TH 大院特別 記録 施設 会議 日本 コムラ (表現) スラ (表現) は り は は ま こ 対
 ら
 口
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は

**郭太德西中** 医釉

自由な呼吸を取り戻すには一言

国界時二三分(東)國民歌游

「家の主人は「金額」とい「をなしてゐる。」

『陸奥』や「長所」を聴して手取してゐる長男は、愛園館人會に

と左に粘たら、黒(ろ)で要す

四を百二十八だと、とれは本語で に構き、黒が描い、また自首二十一そのうちにはねじがとけて鳴らな で以下自六と、自を苦もなく樂道「烈の時計が朝晩り出します。供し

御鎮座で就て

い、それで共に避けた二川着参考

本月十五日口朝鮮神宮御飲座記念 日であり、その翌々十七日は御鉄

日が黒百二十三のすぐ占も急を要

ドイツの関旗を表現した勇ましい

人まかせはやめて自分で働

幸若舞は吉野朝初期の頃よりの 熊本縣願高町

しかし、位くつて云ふのは、聰 | 友情を思へばとそ、自分 | 人が惑

者になっておっと怺へてゐるので

二、時計量の店 三、山の歌俳 回、珍田の歌の下に 四、珍田の歌の下に 四、珍田の歌の下に 朝鮮神宮神像無に就了 朝鮮神宮神像無に就了 明八時三石分(六)紫龍瀬隆(1 日八時三石分(六)紫龍瀬隆(1 日八時三石分(六)紫龍瀬隆(1 日八時三石分(六)紫龍瀬隆(1 日八時三石分(六)紫龍河隆(1 日八日) 1 1 1 1 1

日)—非常時經濟の日「関民精神機動員與關巡問(第三
第一放送)

五日(金)

經濟に處する阀及の**低**情 同七時二〇分(束)講演 非常時

同一の時(城)地方へのニュース(朝鮮路・釜山・済津)

八き三〇分(北) 共雄政治関連八き三〇分(北) 共雄政治関連

ツンブル 午後零時五分 吹打

同七時四〇分 今日の天黒見込高付降 日蓮宗(六)守京守敬操四七時一〇分(東)ラデオ競換高付降 日蓮宗(六)守京守教

國民朝職の時間

何群と風景とを默つて聞いてゐな

店が受って来た

[60]

人の時間10・110

朝鮮から見た 奥村五百子女史

愛國婦人會を修設した明治時代に奥村五百子女史は肥煎問律に生れ



の言葉を知らない程であります。その感謝の心の萬分

呈軍將士の忠勇と勞苦とに對しては私ども國民は感謝

學級、住所氏名

對しては別配賞品を差上ます。
對しては維査員請先生連名の賞泉及び野しては維査員請先生連名の賞泉及び明定の賞品、佳作及選外佳作の作品に 締切期限は來る十一月二十五日限。

選外佳作の方は賞品到着を以て衰衰に二十月の新聞紙上に發表します。二十月の新聞紙上に發表します。、特選、佳作に御入選の方の氏名は一月 班, 欧山佐 品、特通、建作人選の方に左記の

撃 パ 時 パ 時 割 ム 投 箱 計 和歌の四種各二十名づつ計八十名作文(観方)。 衆議,詩・俳句・ ジャアブベンシル玩具 愛園飛行機水 彩 セ フ ト ハンドパツク

和泉ケ城

指導者各位へ・

學校の諸先生、家庭の皆様へ念のため申

、慰問の作品は除り大まかな儀式じみた 管業よりも、郷土色のよく用たものや たものが却つて受ける方に本言によ たとれた言物を其他に贈るのですか ら装飾の意味で倫具、タレオン等によ りないできるのではないでせらか。 が現代書や関係を加へられるのもよろし かと存じます。但し蓋や国案の巧拙 は落在に加へません。

店

査員 (子)(風)

東京文理科大學教授 医女猫部長 被監修官 保科孝一先生西條八十先生 井 上 赳先生 友納友次郎先生

**轰代產國** 

鹼石準標

を積を収めついある

募。

集上

たいと思ひます。美しい通信や作品に依つて出征將士

の方々はどんなに慰められ元気づけられる事でせり。

皆様から、まごころのこもつた慰問作品を送つて頂き

の一でも現はしたく、全國小學校

中、女學校在學の

定

見編

小野賢一郎先生

松島慶三先生松川眞二先生

和歌の四種各十名つつ計四十名作文(観方)・昭高、詩・俳句・

鉛筆一打づつ

飛行機楽のやうな一手まで、

覆面道人

小寝殿から始まる。

征將士へ送ります。一、應案の作品は陸海軍者へ獻勒して、